

連載シリーズ 京都市内博物館施設連絡協議会（京博連）加盟施設紹介

第1回 ギをん思い出博物館（北座ビル・5F）

I COM京都大会記念局：8N3 I COMの開局式を行ったのは北座5Fにある『ギをん思い出博物館』内にある“資料閲覧室”を実はお借りしたものでした。

当日はバタバタしていたせいで、実は写真撮影は本来NGなのですが特別に撮影許可をいただいて写していたにもかかわらず、何とレンズのフォーカススイッチAF/MFがMF（マニュアル）側になっていた事に気付かずピンボケで撮影するといったチョンボを犯してしまいました。

勿論開局当日は博物館の展示品を詳しく見る余裕もなく、お店の方には後日また訪問すると言って帰ったのです。

そんな訳で先日ようやく再訪問して展示品の説明など詳しくお聞きすることが出来ましたので少しですがご紹介したいと思います。



この『ギをん思い出博物館』はエレベータを5Fで降りると直ぐ右手にある【舞妓の髪型】コーナーでは、例えば「勝山」と言って祇園祭の期間だけに結われる珍しい髪など、前から見ただけでは区別しにくい髪型を後ろから撮った写真を併せて展示することで舞妓の髪型のバリエーションを紹介しています。

次に正面には江戸時代の美人画の粋「祇園井特」（ギをんせいとく）の作品が展示されています。宝暦五年（1755年）～文化十二年（1815年）の上方浮世絵師で、祇園井筒屋の主人で、名を特右衛門と称していたので井特と呼ばれ、画の署名も井特としているそうです。





国女歌舞伎繪詞 歌舞伎発祥400年

藤村愛子の世界＝和紙の人形作家の作品



井筒ハッ橋継承の歴史

手焼きのハッ橋

祇園歳時記



京都本のコーナー

鴨東界隈の歴史

南座と北座



四条河原の賑わい

祇園を彩る先人の殿堂

塚本幸一と津田佐兵衛 ムム！何処かで聞いた名前！？



都名所図会 1787年刊行 花咲大黒天には祇園花街の千社札が 井筒ハッ橋本舗本社ビル

決して広くないスペースですが、よく見るとこの祇園界隈の歴史が詳しく展示されていますし、七つあった座が今では南座だけとなり、明治まであった北座の跡地にこの井筒八ツ橋本舗の本社が建ち、歴史を引き継いできた資料を展示・公開していることの意義は非常に大きなことだと思います。

展示品だけでなく、京都の五花街の紹介ビデオ（約10分）も見ることが出来ます。

京都にはこんなお店の中に博物館や美術館など非常に沢山の資料等を展示しているところが沢山あり、京博連に加盟している数は200館を超えているとか！！

日本中、どこを探してもそんな土地はありません。

YXRニュースではそんな施設を出来る限り実際に訪問して紹介したいと思っています。

ちなみに次回は茶道資料館/今日庵文庫を詳しくご紹介したいと思っておりますのでお楽しみにお待ちください。

我々にとっても身近な存在と言っては失礼ですが、裏千家大宗匠の千玄室（鵬雲斎）コレクション撰が茶道資料館開館40周年・今日庵文庫開館50周年記念特別展「裏千家所蔵の優品」に併設展として開催中です。

【前期】4月16日（火）～5月12日（日）

【後期】5月18日（土）～6月16日（日）

併設展 鵬雲斎コレクション撰
A Selection from the Hōnsoai Collection

裏千家所蔵の優品
Choice Urasenke Possessions

2019 4.16[tue]—6.16[sun]

前期: 4月16日[火]—5月12日[日] / 後期: 5月18日[土]—6月16日[日]
開館時間: 午前9時30分—午後4時30分(入館料は前日まで)
休館日: 11月1日(祝日)、11月2日(祝日)、11月3日(祝日)、11月4日(祝日)
入館料: 一般100円、大学生50円、中学生30円、小学生20円(小学生以下は無料)
20円以上は団体料金(10人以上)で団体割引あり(要予約)

茶道資料館
Chūdo Records Center